



新春所感

(2011年)

(協)熊谷流通センター
理事長 大久保 政一



新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様には、平成23年の新春をお健やかに迎えのことに、心からお慶び申し上げます。

顧みますと昨年は、政治面で閉塞感が否めない一年でありました。政権交代後も国民不在の運営が変わっていないこと、政治と金の問題のみに固執しその他の重要案件の審議が十分なされていないこと、また、中国・ロシア等の外交交渉の拙さが大いにストレスを感じさせた一年でありました。政府には、防衛問題等しっかりとした枠組みの中で日本はどうあるべきかという道標を早く国民に示していただきたいと思うところであります。

経済的には、年の前半で建て直しの兆しがあったものの、後半は急激な円高に苦しむことになりました。自動車、電機等基幹産業の多

くの拠点がさらに東南アジアにシフトする結果を招いており、いまだに雇用、消費両面で不安を抱えざるを得ない局面が続いています。われわれ中小卸売業者の生活にも密接につながることであり、景気浮揚の抜本対策を切に願うところであります。

また、全国的な猛暑や記録的豪雨も経験することとなった一年でもありました。ラニーニャ現象という、日本付近に強力な太平洋高気圧が発生したことによる影響だそうではありますが、エアコン等の季節商品の売上が上がる一方で、農作物や漁業にも深刻な影響を与えており新たなリスク要因として我々も備える必要があろうかと考えるところであります。

さて、昨年の組合運営でありましたが、組合総会時に事業計画でもお示した通り、熊谷市による歩

トピックス 2p
平成23年 年頭所感

トピックス 3p
商工中金着任ご挨拶

ニュース 3・4p
杭州・上海 視察研修の旅

道整備が開始いたしました。本年度は団地東側遊水池沿いに歩道・車道の整備が実施されております。団地全体の歩道・車道の整備には時間を要するものと思われませんが、皆様のご理解とご協力を引き続きお願いしたいと思います。

また、今年は「大規模災害時対応プロジェクトチーム」による調査事業の結果報告を2月に取りまとめる予定にしております。詳細は別途事務局より行いますのでご了承くださいませようお願いいたします。

結びに、同志社大学文学部名誉教授である井上勝也さんの言葉に共感を覚えましたのでご紹介いたします。井上教授は「日本のパイオニアとしてたくましく行き抜いた新島襄(同志社大学の創始)」を研究されている方で、新島襄を通じ、今の時代を生き抜くリーダー像を示しておられます。

『パイオニアとは危機に直面するような出来事をいち早く察知して、被害を極力小さくし、ピンチを逆手にとり、たくましく成長する知恵と知識と勇気をもって実行するリーダーのことをいうのだと思う』

このところ古民家を利用した飲食店がちょっとしたブームだ。中には屋だけの短い営業時間ながら、予約をしないと席が取れないレストランもある。実際に利用してみると、なるほどゆったりと時間が流れていくような気分になる。忙しい日々を送っている現代人にとって、普段とは全く違った時間と空間は、とても贅沢なものだと感じる。

多くの日本人の記憶にある「ふるさと」は、こんな古民家の中にあると、鮮明に思い出させてくれる。

都会のハイセンスなデザインがほどこされたイタリアンもいいが、たまにはほっとする時がほしい。こんな潜在ニーズが共感を呼んでいるのかも知れない。

行田、熊谷、深谷周辺には、古民家レストランが似合うところがとても多い。だから地元客だけでなく、ネットでの評判に反応した人々が遠くから訪れる。

そう言えばここは地方だから、田舎だからというだけで、何かとうまく行かない理由付けをしていたことが多い。でも、あえて田舎に人が集まる事だつてあるのだ。

張りぼてではない本物の建物の中で、無農薬の料理をいただく古民家レストランは、人々の共感を得て今日も予約客でいっぱいだ。



Photo Essay

平成23年 年頭所感



役員の皆様へ年頭所感を語って頂きました。

◆は日経平均株価予想（平成23年3月末終値） ◇は円ドル相場予想（平成23年3月末終値）

理事長 大久保 政一

デフレを克服し逆転の発想。
ピンチからチャンスへ

◆ 11,230円 ◇ 85.25円

副理事長 藤澤 貞彦

変化の時代こそ成長の好機、他社との差別化を図る

◆ 10,300円 ◇ 85円

副理事長 大久保 和政

変化の激しい時代には、必ずやり抜くとの強い意志を持ち、将来を見据えた行動への転換の年とする。

◆ 9,900円 ◇ 81.80円

副理事長 清水 龍男

修己治人

◆ 11,200円 ◇ 88円

理事 中沢 実

お客様の繁栄に役に立つ 提案型新流通業をめざし、オンリー1トータリアを創る。

◆ 9,515円 ◇ 82円

理事 藤間 憲一

大転換期に自らを変化させ、ゼロから新モデルを構築する年としたい

◆ 9,800円 ◇ 89円

理事 佐藤 良孝

新流通に打ち勝つ製品と提案手法と差別化による競争優位な営業を

◆ 11,500円 ◇ 88円

理事 飯島 賢二

「大変革の時は、今！」今年こそ変えます、変わります。

◆ 9,300円 ◇ 79円

理事 宮川 進

激動の平成・高遠なる理想・平凡なる実行で顧客を創造・自己創造

◆ 10,200円 ◇ 91円

理事 武藤 正

澹泊明志 寧静致遠
諸葛亮「戒子書」より

◆ 8,888円 ◇ 77.77円

理事 小林 肇

クリアな瞳でスリムなボディ、ネットワークの衣裳を纏っていざ・・・

◆ 9,200円 ◇ 81円

理事 石山 洋一

感奮興起
今こそ心技体のスイッチを入れよう

◆ 10,500円 ◇ 89円

理事 小菅 克祥

まだ辛抱の年が続きそうですが、飛躍に向けて基礎体力をつけます。

◆ 11,800円 ◇ 87円

専務理事 及川 亨

今年こそ「謙虚」でありたいと思います。

◆ 8,800円 ◇ 77円

監事 不破 武久

低々成長時代に即応した経営効率化の推進

◆ 9,950円 ◇ 89円

監事 渡辺 優

企業の発展を社会の幸福と信ぜよ

◆ 9,286円 ◇ 86.30円

事務局長 仲俣 巧

気力・体力を充実させ、組合の糧となる仕事への取り組み。

◆ 10,888円 ◇ 88.80円





着任ご挨拶

商工中金熊谷支店
支店長 佐野 直人

この度、商工中金熊谷支店長を拝命致しました佐野でございます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

組合並びに組合員の皆様方におかれましては、日頃より商工中金へのご理解とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

私は昭和38年8月20日生れの47歳、静岡県出身です。商工中金には昭和61年に入庫し、これまで本店営業部、仙台、人事部、広島、押上、管理部と勤めてまいりました。家族は前橋在住で、

妻と高三と小六の娘二人です。前任者と同じく単身赴任で、早々に熊谷の地に馴染みたく、その一環としても是非皆様お薦めの「お店」等(?)がございましたら、ご教授いただければ幸いに存じます。

昭和50年のセンター開設から遅れること4年、私どもも出張所として当地に開設し、以来、皆様の発展と共に歩んでまいりました。リーマンショックからの回復も半ばで、円高に伴う空洞化の進行など、先行きの不透明感が増す中、微力ながら、これからも引続き組合、組合員の皆様方のお役に立てるよう精一杯努力していくつもりです。お問合せ、ご相談等、何なりとお申し付けください。

私自身支店勤務は5年振りで、かつ新任支店長として勉強中の身でありますので、至らぬ点多々あるかと存じますが、担当者共々格別のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

(協)熊谷流通センター
35周年

杭州・上海 視察研修の旅

1日目
9/10

杭州(日本では広州と区別するため「くいしゅう」とも言うらしい)へ空路到着、ところが飛行機の窓に雨しぶきが…、ガラガラの空港であつという間に入国手続きを終えた一行を大雨が歓迎してくれました。現地ガイドの孫さんが「涼しい杭州に来られるなんてラッキーよ」と気を使ってくれたのがせめてもの慰めでした。全員先ずはホテルに向かい雨の様子を見ることにしました。すると次第に雨が上がって来たので、市街地の南端「河坊街」へ移動、散策。全長

460m、道幅12mの街並みは、日本でいう浅草の仲見世のような雰囲気でした。孫さんからの「この辺の露天で扱っているお茶はぜんぶ偽者よ」という忠告を守り、さらりと見学を終え、西湖のほとりにある楼外楼(日本にも同名のレストランがあるものの全く関係ないそうです)というレストランで「トンポーロー」や「乞食鳥」のご当地料理をいただきました。

仕上げは孫さん一押し「湖上ショー」を見学。西湖の中



にステージを作り、(一説には400人もいるらしいという)踊り子が湖上を舞う姿は優雅の極みと参加者全員が賞賛。久々に心が洗われるような思いがしました。この間は雨も降らず、「明日は晴れるかな?」という期待を抱き、皆早々にベッドに入りました。

2日目
9/11

この日は朝から雨。聞けば台風が通過中とか。予定していた西湖遊覧を一時間遅らせ様子を見ようということに。「せっかくだから乗ろうよ!」という孫さんの後押しもあり、しぶしぶ西湖のほとりへ向かうと、雨が上が

り湖上見学に最適なクルーズに…全員満足。その後雨が降ったり止んだりの中、バスでの車窓見学をし、市街地の北端に移動、「杭州酒家」というレストランで昼食をいただきました。昼食後は「杭州駅」へ。駅周辺からホームの中まで、長い距離の移動と待合室の大混雑に皆やや疲れてしまい、上海への車中ではぐっすり眠りについてしまいました。上海市街地は万博に加えお祭りがあるため、交通規制がひ

かれており、夕食のレストランに直行。広東料理に舌鼓を打って全員満足。その後、「上海雑技団」を見学、ホテルに移動し休むことにしました。今回の研修旅行は結果的に「雨という要因もあり、気が付いたら」「食べること」がメインになっており、新たにお腹に刻まれた年輪がうらめしく、日本に帰ったら「今度こそダイエットしなくちゃな」としっかり心に誓った一日でした。



3日目
9/12

今日は待ちに待った“万博”見学の日です。なんと雨が降っていません！しかし、入場門に差し掛かると“お約束のような”大雨です。このため、一時雨足が弱まるまでゲート付近で待機し、お土産店に移動。でも、予定していた11時～11時半には全員が“日本館”に入場でき安堵いたしました。ちなみに現地の人達が一般入場で待つとしたら“8時間待ち”だとか。ある意味

中国人のパワーを感じさせられました。見学後は隣接する日本食のレストランに移動。その後は日本人留学生のサポートを得ながら自由に散策。雨が降ったり止んだりなので早めの時間で切り上げ、次の目的地“美術院”でお買い物をするにしました。その後ホテルで一時休憩、英気を養って夕食の海鮮レストランに移動。“最後のビッグイベント”には全員総力を挙げて参加。なんと紹興酒30本を制

覇したのには驚くやら、あきれやら…。その後、地元のお祭りが見たいという数人を途中で降ろしホテルへ移動。最終日に備えました。



4日目
9/13

朝から雨です。雨が小ぶりになるのを待って外灘というところに出かけました。上海の新旧街並みが見ることができ、改めて町の大きさに驚きました。今回の研修旅行最後の思い出に全員で“記念写真”を撮りました。さて、延べ4日間に亘る行程の中

で臨機応変に対応していただいた“孫”さん、通訳でお手伝いいただいた(株)オキナヤの藤間常務、気配りでサポートしていただいた(株)井ノ瀬運送の斎藤専務、その他お手伝いいただいた皆様に感謝の気持ちを述べ研修報告とさせていただきます。



理事会報告

● 9月16日理事会

《議案》

- 組合会館の空調設備更新について原案通り承認

● 10月22日理事会

- 組合運営について意見交換

集団健康診断実施

組合の福利厚生事業の一環として行っている定期健康診断を、ティーエムクリニックの医師・看護師20名により10月14日・15日の2日間実施した。検査項目は、労働安全衛生法の所定項目のほか、肝炎ウイルス・胃検診(血液・X線)・骨密度・前立腺等のオプション検査も実施され、二日間で団地内企業の社員約550名が受診した。

青経会例会

青経会の研修例会は、メンバーである(株)オキナヤの藤間常務に講師をお願いし、去る10月15日組合会館で開催された。テーマは「中国経済の状況」と題し、当社が進出を予定している中国の現況についてマクロ・ミクロの観点、及び日系進出企業の状況についてお話を頂いた。



春秋会忘年会

春秋会の忘年会が、12月6日ホテルガーデンパレスで開催された。今回は、「ぎょうざの満州」代表取締役池野谷ひろみ氏を講師にお願いし、講演会を開催した。当社ばおいしい餃子で人々を幸せに」をスローガンに、駅前に60の直営店を

展開し急成長を遂げている。参加者は、試食の餃子でジューシーなうまさを実感していた。



組合員の動き

代表者変更

京セラミタジャパン株式会社
前所長 加古 卓也
新所長 木元 耕司
平成22年10月

事務局日誌

- 9月 2日 正副理事長会議
周年旅行説明会
- 10日 周年旅行～13日
- 16日 理事会
- 24日 BCP発表会
ルール・設備小委員会
- 10月 5日 青経会研修例会
- 7日 正副理事長会議
- 14日 健康診断～15日
- 21日 理事会
- 28日 卸商団地連絡協議会
- 11月 8日 卸商団地トップセミナー
- 15日 厚生年金基金会議
- 22日 仙台卸商センター来組
- 25日 正副理事長会議
- 26日 卸商団地交流会
- 12月 2日 広報小委員会
- 6日 春秋会忘年会
- 7日 総務委員会
- 8日 給油委員会
- 14日 物流委員会
- 16日 環境委員会
- 22日 災害対策常任委員会